

コミュニケーション技術

問題 33 介護職と利用者の家族との関係づくりに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族の個性や生き方に関係なく、同じ対応をすることが大事である。
- 2 家族間の関係性を把握する必要はない。
- 3 家族と利用者の希望は同じであると考えて対応するとよい。
- 4 介護職の身だしなみは、家族との関係に影響しない。
- 5 利用者とかかわる家族のようすで、家族を理解できたと思っ**て**はいけない。

問題 34 Gさん(83歳、要介護2)は、夫(85歳)と二人暮らしである。大腿骨頸部骨折だいたいこつけいぶこっせつ(femoral neck fracture)で入院していたが、退院時、排泄はいせつはトイレで自立していた。退院後、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになり、訪問介護員(ホームヘルパー)が初めて訪問すると、Gさんはおむつをして、ベッドで横になっていた。

訪問介護員(ホームヘルパー)が夫との関係づくりのために、最初に行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夫におむつ交換の方法を指導する。
- 2 夫の頑張りを認めながら、Gさんの状況を聴く。
- 3 リハビリテーションの導入を検討するように、伝える。
- 4 夫の介護では限界があることを自覚するように、促す。
- 5 このままでは寝たきりになるので、Gさんを起こすように話す。

問題 35 家族が利用者本人の意向や状況を理解していないとき、両者の意向を調整するための、家族に対する介護職の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「ご家族の価値観で判断してはいけません」
- 2 「ご本人の考えを優先して、ご家族も考え方を変えましょう」
- 3 「ご本人が何に関心があるのか、気持ちを聞いてみませんか」
- 4 「ご本人について理解が足りないから、もっと理解しましょう」
- 5 「私たちは、ご本人の権利を守る必要があるので、ご本人の意向を優先します」

問題 36 認知症(dementia)の人とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 情報は簡潔に伝える。
- 2 横から話しかける。
- 3 わかりにくい言葉や行動を指摘し、修正させる。
- 4 説得するように話す。
- 5 非言語的コミュニケーションは避ける。

問題 37 Hさん(70歳, 女性)は, 最近, 抑うつ状態(depressive state)にある。

Hさんに, 介護職が初めてかかわろうとするときの, きっかけづくりの言葉かけとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「おちこんだらだめですよ」
- 2 「どうしてそんなに黙っているのですか」
- 3 「皆さんの所へおしゃべりに行きましょう」
- 4 「元気を出して。頑張ってください」
- 5 「今日は少し暖かくなりましたね」

問題 38 統合失調症(schizophrenia)の人が, 自分の妄想を話したときの介護職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者理解のために, 妄想の内容を詳しく聞く。
- 2 妄想をなくすために, 解決策について話し合う。
- 3 混乱させないために, 妄想の話は聞かないようにする。
- 4 妄想の内容は理解できなくても, 否定も肯定もせずにかかわる。
- 5 誇大妄想の内容は, 事実ではないから気にしなくてよいと伝える。

問題 39 ケアカンファレンス(care conference)に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 議題は司会者が把握しておけばよい。
- 2 経験年数の長い職員の意見に従う。
- 3 自分の思いにこだわって発言する。
- 4 意見が分かれるときは, 多数の意見を尊重する。
- 5 各職種の専門性を理解して参加する。

問題 40 チーム内の連携に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 リーダーは、指示を行うだけでなく、メンバーの経験などにより裁量を認める。
- 2 チームでは、記録や言葉に頼らずに、互いに理解できることを目指す。
- 3 会議で相手を非難することは、よりよい介護を目指すためには必要である。
- 4 利用者の個人情報の保護に留意する必要はない。
- 5 主要な専門用語の意味を共通認識しておく必要はない。